

犠牲はいつも国民！基地も原発も！

原発と基地、苦しみの根っこは同じです

平和な暮らしに基地や原発はいりません

5年で1兆円！米軍への「思いやり予算」を復興支援に！

普天間基地は撤去、米海兵隊は撤退を。



意見広告
この運動はいつなる戦争、空襲にも風さらいの運動です。

命

めち

言葉を失うほど多くの人の命と生活を
関こそ奪ってしまった巨大地震・巨大津波。
東日本大震災によって私たちは
改めて命の尊さを教えられました。

そして、いまでも続く
福島第1原子力発電所の深刻な
事故(人為災害)は、国策として
推進されてきた原発の安全性がいかに
脆弱に落ちたものであったか、
神話にすぎなかったのかを語っています。

私たち自身の
未来のために。

沖縄の米軍基地も国民の命と生活を何ら高め上げる
ことなく国家として押し付けられ続けてきました。
半世紀以上にもわたって土地を奪われ、
軍事基地と被った危険にさらされて生きる
不安・恐怖はどれほどのものか。

巨額な税金を注ぎ込んだ「思いやり予算」や、
米軍行脚関連に充てられた
米軍の「トモダチ作戦」は、
真の「及み関人政策」と
言えるものなのか、
沖縄の基地の固定化
(辺野古への移設)、
日本軍事同盟の強化への
布石ではないかと危惧しています。
沖縄、原発、民意を無視し続けてきた
「国策」の誤りを正す責任を、
いま私たちが一人ひとりが問われているのではないのでしょうか。
悲劇のない沖縄、軍隊や核抑止力、原発に頼らない平和な日本、安心して暮らせる社会へ、
つくられた「原発安全神話」、「核抑止力神話」と決別して、日本の社会のあり方、
私たち自身の生活のあり方を根柢から問い直し、変えていきたいと思います。
経済成長がすべてではありません。何よりも大切なのは生命です。
命どう宝…文字どうりこの宝のような沖縄の言葉を
いまこそかみしめたいと思います。

「トモダチ作戦」は知らない。
「思いやり予算」を復興支援に。

変えよう！軍隊や核抑止力、原発に頼らない日本へ。

この意見広告は、会館から寄附された
謝礼金の20%に相当する額に引き上げ
実施しました。これからの声を挙げて
行動する努力を続けます。

賛同者総数...5,001件
公表可...4,214件
匿名希望...787件

「普天間即時閉鎖、辺野古やめる、海兵隊いらない」
アメリカの新聞への沖縄・意見広告の
共同募集を継続しています。
<http://okinawaiken.org> E-mail: info@okinawaiken.org

東京都中野区中野2-23-1 ニューグリーンビル309 協賛センターアソシエ内
Tel.03-6382-6537 Fax.03-6382-6538

大阪府東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ内
Tel.06-6328-5677 Fax.06-6328-5777

●5月14日『琉球新報』、『沖縄タイムス』、15日『朝日新聞』に広告が掲載されました
次はアメリカの新聞へ沖縄・意見広告を!
6・17集会にみなさんの参加を
呼びかけます
6月17日(金) 午後5時30分開始

●発言:
服部 良一 (衆議院議員)
武 建一 (連帯労組関西地区生コン支部委員長)
海老澤 徹 (京都大原子炉実験所元助教) 他

協同会館アソシエ・ホール
大阪市東淀川区淡路3-6-31



●問合せ: 沖縄第二期意見広告運動 関西事務所
Tel: 06(6328)5677 Fax: 06(6328)5777
mail: info@okinawaiken.org http://okinawaiken.org

米海兵隊の普天間基地の即時閉鎖・返還を求め、「県内移設」に反対します。

普天間基地は米政府自らも認める世界一危険な基地です。米軍は戦後66年もの間、村の役場、田畑や学校のあった暮らしと命を育む土地を強奪し、飛行場をつくり、使い続け、爆音被害と死の恐怖を与え続けてきました。菅政権は破綻した「県内移設」ではなく、何よりもまず、無条件にアメリカに普天間基地のすみやかな閉鎖と返還をさせるべく、米政府と真剣に交渉すべきです。

辺野古新基地V字形、埋め立て方式)建設案の断念を求めます。

日米両政府案は普天間基地の危険を移し、辺野古と大浦湾の生物多様性豊かな「美ら海」を破壊し、住民の命と暮らしを破壊するものです。沖繩はいくにおよばず、日本のどこにも海兵隊の基地を受け入れる意思がない以上、米海兵隊は日本から全面的に撤退する以外にありません。日米両政府は沖繩の民意を尊重すべきです。それがまことの民主主義です。

日米安保条約をやめ、軍事力によらない平和を構想しましょう。

日米安保条約に基づく日米関係は、対米従属と構造的な沖繩差別の上に成立しています。これは、憲法前文と9条の平和主義(戦争放棄・平和的に生存する権利など)の原則と相反するものです。米軍基地はこの安保条約を根拠に存在し、そして核エネルギー(原子力)政策も日本の農と食を崩壊させるTPP問題も、同じ根から発せられています。日本政府はこの米軍基地の維持のために毎年1900億円もの思いやり予算を支払っています。巨額な日本の資金に支えられた「トモダチ作戦」とは、おかしいではありませんか。私たちは災害救助を利用して、日米同盟を「深化」させようとする政策に反対します。そして、軍隊は「災害救援隊」(仮)に改組すべきと提案します。安保条約によれば、どちらかの政府が1年前に通告すれば終了できます。日米安保条約をやめて、日米平和友好条約を結ぶための対話と交渉をいまず始めることを求めます。

沖繩・意見広告運動(第二期)

発起人 (アイウエオ順)

- 安次富 浩 名護・ヘリ基地反対協議会共同代表
- 上原 成信 沖繩・一坪反戦地主
- 大野 和興 脱WTO/FTA草の根キャンペーン事務局長、日刊ペリタ代表
- 尾形 憲 法政大学名誉教授
- 武 建一 連帯労組生コン支部委員長、中小企業組合総合研究所代表
- 本山 美彦 京大名誉教授、「変革のアソシエ」共同代表
- 山内 徳信 参議院議員

呼びかけ人 (順不同)

- 新崎 盛暉 沖繩大学名誉教授
- 伊波 洋一 前宜野湾市長
- 福山 真効 フォーラム平和・人権・環境代表
- 宇沢 弘文 東京大学名誉教授
- 鎌田 慧 ルポライター
- 石川 文洋 報道写真家
- 五島 昌子 市民文化フォーラム
- 福島みずほ 参議院議員
- 服部 良一 衆議院議員
- 河村宗治郎 兵庫県被災者連絡会
- 花輪 伸一 WWFジャパン(財)世界自然保護基金ジャパン
- 猿橋 均 日本自治体労働組合総連合書記長
- 組坂 繁之 部落解放同盟中央執行委員長
- 石橋 行受 日本山妙法寺
- 石井 恒司 千葉 農民
- 西沢江美子 TPPに反対する百姓女の会
- 柳田 真 たんぽぽ舎
- 野平 晋作 ピースポート
- 下山 保 バルシステム生活協同組合連合会元理事長
- 木村 順子 生活協同組合元理事長
- 富山 洋子 日本消費者連盟代表
- 高里 鈴代 沖繩・行動する女たちの会
- 江田 忠雄 9条改憲阻止の会・9条バンク運動
- 土屋源太郎 伊達判決を生かす会共同代表
- 川那部浩哉 京大名誉教授・生態学
- 前田 知克 弁護士
- 斎藤 貴男 ジャーナリスト
- 河村 哲二 法政大学教授
- 水田 洋 名古屋大学名誉教授
- 守安 敏司 財団法人水人社博物館

(発起人・呼びかけ人は第一期より継続。第二期も引き続き呼びかけ人・賛同人を募ります。)

- 相川 晴彦 京葉生き生き会議
- 佐久間忠夫 国労働争団
- 大野 進 全日本港湾労働組合大阪支部委員長
- 中村 吉政 全国金属機械労働組合合同副委員長
- 橋野 高明 同志社大人文研研究員
- 落合 正史 日中友好元軍人の会
- 金井 創 日本キリスト教団佐敷教会牧師
- 安川寿之輔 不戦兵士・市民の会
- 松浦 愚明 浄土真宗本願寺派僧侶 他多数

賛同団体 第二期(6月7日現在)

- 平和フォーラム
- 沖繩・名護ヘリ基地反対協議会
- 沖繩・一坪反戦地主会関東ブロック
- JUCON (JAPAN-US Citizens for Okinawa Network)
- 日本山妙法寺(ニューヨーク道場)
- 沖繩・平和市民連絡会
- 新嘉手納基地爆音訴訟原告団
- 普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団
- 岩国基地4訴訟原告団連絡会
- ピースリンク広島
- ピースリンク呉
- ピースリンク岩国
- 特定非営利活動法人APLA
- アジア農民交流センター
- ジュゴン保護キャンペーンセンター
- 部落解放同盟大阪府連合会
- (財)水人社博物館
- 反安保実行委員会
- ピープルズ・プラン研究所
- NCC(日本キリスト教協議会)女性委員会
- カトリック横浜教区正義と平和協議会 他多数。

【第二期意見広告】

- ①アメリカの新聞に意見広告を掲載します
引き続き賛同を募集中です。
- ②賛同金
個人：1口1000円で一口以上。
団体：1口5000円で一口以上。
振替口座 加入者名:「意見広告」
口座番号:00920-3-281870
- ③ネット上でも賛同を受け付けます。
ネット上で賛同金を振込みできます。
- ④広告掲載の時期予定原稿及び掲載予定紙はホームページにてお知らせいたします。

普天間基地は撤去、米海兵隊は撤退を。
ねがい。
基地のない沖繩
そして日本を。
5月16日(土)の朝日新聞で「普天間基地」に関する「意見広告」の成功を!
安保改定50年 平和に生きるため、見直すときです。
「意見広告」掲載料(税別)4,480円
沖繩・意見広告運動
http://www2.nikkan.or.jp/okinawaiken/ E-mail:okinawaikenkoukoku@berita.jp
TEL:03-6382-6337 Fax:03-6382-6338 TEL:03-6328-9277 Fax:03-6328-5777

2010年5月15日の琉球新報、沖繩タイムス、16日の朝日新聞に掲載した第一期の沖繩意見広告(全面広告)です。

沖繩・意見広告運動(第二期)

- 東京連絡先 電話03(6382)6537 FAX03(6382)6538 東京都中野区中野2-23-1-309号協働センター・アソシエ内
- 関西連絡先 電話06(6328)5677 FAX06(6328)5777 大阪市東淀川区淡路3-6-31協同会館アソシエ内
- メールアドレス info@okinawaiken.org ■ホームページ http://okinawaiken.org